

【田布施町】 校務DX計画

教育活動の質の向上や教職員の負担軽減による働きやすい環境づくり等に向けて、文部科学省「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や、「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえつつ、校務DXの推進を図るため、下記のような取組を実施する。

1 GIGA環境・汎用クラウドサービスの一層の活用

自己点検の結果によると、「教職員が作成した教材のクラウド上での共有」や「教職員向けの調査やアンケート」など、校内におけるクラウド活用は取り組みが進んでいる。一方で、「保護者からの問い合わせや連絡」や「学校から保護者へのお便り・配布物のクラウドサービスを用いた配信」など、保護者を対象としたクラウド活用については、あまり進んでいない。

今後は、校務系と学習系のネットワークの統合やクラウド化の実施などに向けて調査研究を進め、ICTの活用による校務の効率化に向けた環境整備をより一層推進する。

また、クラウドサービスの効果的な活用をさらに促進し、日常化することが求められていることから、教職員研修の充実や好事例の共有を積極的に行っていく。

2 FAX・押印等の制度・慣行の見直し

- ・クラウドツールの活用や書類の電子化を推進する。
- ・FAXでの送付を求めている関係団体・事業者等に対して、制度・慣行の見直しを図るように働きかける。

3 統合型校務支援システムの運用について

令和6年度から統合型校務支援システムの運用を開始し、児童生徒情報の共有化と多様な校務処理の効率化が可能になり、幅広い業務で活用している。

今後は、異なるシステム間でのデータ連携を研究するなど、システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の削減をめざす。

4 次世代校務DX環境の整備について

文部科学省が取りまとめた「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」において方向性が示された「次世代校務DX環境」を目指し、必要な環境整備について、今後検討を深める。